

文献データベースにおける医学ジャーナルの収録状況

ーLANCET、NEJM、JAMA の MEDLINE 、Embase、Scopus、Web of Science、CAplus、Dimensions、JSTPlus での収録を見るー

廣谷映子

一般社団法人 情報科学技術協会 OUG ライフサイエンス分科会

文献データベースを用いた調査では目的に応じて文献データベースを選択することがまず調査開始の第一歩である。例えば調査対象が海外の医学文献ならば PubMed を選択するのがスタンダードとなっているが、その理由は PubMed の収録対象誌の豊富さだけでなく、収録対象誌として選定されているジャーナルに対する信頼、そして収録されている文献データ数が多いことや年代が幅広いこと、収録期間が短いこと、医学分野に特化したインデキシングの付与、さらには誰もが無償で使えること、などであろう。

一方で、収録対象誌であればそこに掲載された記事は文献データとして文献データベースに収録されているもの…との期待のもと調査をするわけだが、しかし、果たして収録対象誌に掲載された記事が期待通りに文献データとして調査対象の文献データベースに収録されているのかは未確認である。より網羅的に漏れなく調査を進めるためには調査対象の文献データベースにどのように掲載記事が収録されているかを知ることが重要である。

そこで著名な医学ジャーナルである LANCET、New England Journal of Medicine（以下、NEJM）、Journal of American Medical Association（JAMA）の3誌を取り上げて文献データベースでの収録状況を調査することとした。調査は提供される文献データベースのサービスの安定性から商用データベースを用いることとし、MEDLINE、Embaseの2つの医学分野に特化した文献データベースのほか、LANCETとNEJMEについてはジャーナルタイトル名の文献データベース、そして、Scopus、Web of Science、CAplus、Dimensions、JSTPlusとした。対象期間は出版年をオンラインジャーナルが普及し始めた2000年から2024年とし、ジャーナルはISSN（pISSNとeISSN）で検索した。

調査の結果、収録対象誌とされるジャーナルであっても文献データベースまたジャーナルごとに傾向が異なることを確認したので、その内容を報告する。

本ポスター発表は INFOPRO2024 の報告¹⁾で未発表の調査結果を加えて行うものである。

1) 情報科学技術協会 INFOSTA. “OUG ライフサイエンス分科会 発表資料／公開資料”. https://www.infosta.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/08/INFOPRO2024_OUG_LIFE_2.pdf, (参照 2025-05-31)